

# 第17回

## '06選抜女子駅伝 北九州大会

□ 期 日 / 2006年1月22日 (日)  
□ コース / 小倉北区・小倉城歴史の道一  
八幡西区・北九州プリンスホテル  
折り返し 32.8km

一般・大学の部 5 区間 高校の部 6 区間

### □ 順位

#### 一般・大学の部

1	ワコール(京都)	1° 44'21"
2	スズキ(静岡)	1° 45'59"
3	十八銀行(長崎)	1° 46'21"
4	沖電気(宮崎)	1° 46'57"
5	天満屋(岡山)	1° 47'05"
6	九電工(福岡)	1° 47'55"
7	サニックス(福岡)	1° 49'11"
8	TOTO(福岡)	1° 50'12"
9	京都産業大学(京都)	1° 53'48"
10	北九州市一般選抜(福岡)	1° 57'42"
11	名城大学(愛知)	1° 59'54"

#### 区間賞

第1区(4.2km)	奥永 美香(九電工)	13'32"
第2区(5.9km)	山岸万里恵(天満屋)	18'56"
第3区(5.1km)	高橋 紀衣(スズキ)	16'32"
第4区(5.9km)	湯田 友美(ワコール)	18'59"
第5区(11.7km)	福士加代子(ワコール)	★35'22"

#### 高校の部

1	須磨学園(兵庫)	1° 47'16"
2	立命館宇治(京都)	1° 48'12"
3	諫早(長崎)	1° 49'00"
4	筑紫女学園(福岡)	1° 49'19"
5	神村学園(鹿児島)	1° 49'25"
6	戸畑商業(福岡)	1° 50'00"
7	興譲館(岡山)	1° 50'26"
8	千原台(熊本)	1° 51'03"
9	大分西(大分)	1° 51'20"
10	小林(宮崎)	1° 51'49"
11	山田(高知)	1° 52'08"
12	済美(愛媛)	1° 54'45"
13	中央育英(鳥取)	1° 55'17"
14	鹿島実業(佐賀)	1° 57'14"
15	南部商業(沖縄)	1° 57'20"
16	柳川(福岡)	1° 57'35"
17	北九州市高校選抜(福岡)	1° 58'29"

#### 区間賞

第1区(4.2km)	小林祐梨子(須磨学園)	★13'14"
第2区(5.9km)	小島 一恵(立命館宇治)	19'14"
第3区(5.1km)	宮下 沙希(須磨学園)	16'54"
第4区(5.9km)	竹下 由乃(神村学園)	19'35"
第5区(4.9km)	上田 裕子(立命館宇治)	16'09"
第6区(6.8km)	野原 優子(筑紫女学園)	20'48"

★は区間新



区間記録を38秒更新したワコールの福士加代子

#### 一般・大学の部

### ワコールがアンカー対決制し、2回目V 福士がワゴイを一瞬で置き去り

ワコールがスズキとのアンカー対決を制し、2年ぶり2回目の優勝を果たした。3区が終わった時点で、トップのスズキに約30秒差をつけられていたが、4区の湯田友美が5秒差まで詰めると、アンカーの福士加代子がスズキのルーシー・ワゴイを軽々と突き放してゴールした。

ワコールは1、2区を2位と好位置を確保したが、3区で3位に後退。しかし、先頭のスズキに27秒差、天満屋に9秒差でタスキを受けた4区の湯田が区間賞の走りで、天満屋をかわし、スズキに迫った。

アンカーの福士は、1km過ぎでアテネ五輪ケニア代表のワゴイをとらえ、しばらく並走した後、スパート。一瞬で引き離した。福士は従来の区間記録を一気に38秒も更新する区間新を打ち立てた。スズキは途中まで理想的なレース運びをしたが、ワゴイが誤算だった。

十八銀行は各区で堅実につなぎ、九州実業団駅伝、全日本実業団駅伝を合わせて、初めて九州勢のトップとなる3位。沖電気は宮内洋子が最終区で2人をかわし、4位に入った。

福士加代子・ワコール5区 「区間新? きゃっは一。これで(優勝副賞の)博多人形がゲットできるう」  
小沢欽一・スズキ監督 「(タスキ渡しの不備で全日本実業団駅伝の出場権を逃し)選手たちはこの大会に懸けていたし、結果も出してくれた。ワゴイは12月初めから約1カ月、ケニアに帰国させたが、調整に失敗したようだ」

高木孝次・十八銀行監督 「正直なところ5位ぐらいと思っていたけど、狙い以上のデキで満足です。やってきたことが間違いじゃないと思える内容だった」

#### 高校の部

### 須磨学園が3連覇 1区・小林がロケットスタート

全国高校駅伝2位の須磨学園が前半型のオーダーを的中させて、スタート直後から独走、1度もトップを譲ることなく、3年連続3回目の優勝を果たした。

須磨学園は1区に1500m、3000mの日本高校記録を持つ小林祐梨子を起用。小林はスタート直後に一般を含めた全選手を置き去りにし、跳びはねるようにストライドを伸ばして加速、高校2位に27秒差をつける区間新の力走で流れを一気に引き寄せた。

2区では立命館宇治の小島一恵が区間賞を奪い、須磨学園との差を17秒まで縮めた。が、須磨学園も3区で宮下沙希が区間賞を取って再び突き放し、4区以降も堅実にタスキをつないだ。

2位は、5区で上田裕子が区間賞を奪取した立命館宇治。3位には1、2区の高田鮎実、太田有希が流れを作った諫早が入った。筑紫女学園はアンカーの野原優子が区間賞の力走で2人を抜き、4位に滑り込んだ。全国高校駅伝優勝の興譲館は7位。

長谷川重夫・須磨学園監督 「実業団に並ばれた時に粘らないといけない。あっさり抜かれ過ぎ。せっかく一緒に走る貴重な機会なんだから」

小林祐梨子・須磨学園1区 「区間新でもタイムには満足していません。一般の渋井陽子さん(三井住友海上)の区間記録(13分6秒)を破りたかった」

野原優子・筑紫女学園6区 「戸畑商だけには負けたくなかった。都大路で10年連続入賞を逃した悔しさを晴らせた」



スタート直後から飛び出し、独走する須磨学園の小林祐梨子